



# 彩の技術士

公益社団法人 日本技術士会 埼玉県支部  
The Institution of Professional Engineers, Japan 埼玉県支部

こうほう・Vol.7 2016.4.1

〒333-0844 川口市上青木 3-12-18 SKIP シティ A1-706B  
埼玉県支部事務局 TEL: 048-263-0840, Fax: 048-263-0841  
<http://www.engineer.or.jp/shibu/saitama/index.html>

## 目次

巻頭言  
支部長所信表明  
平成28年度 埼玉県支部階級図  
新年度を迎えて  
技術士研究・業績発表大会報告  
協賛団体の紹介

埼玉県産業振興公社理事長 織田秀明  
日本技術士会埼玉県支部長 渡辺孫也  
委員会所掌事項一覧表  
各委員長  
CPD 委員会

## ★ 巻頭言 イノベーションのジレンマ

埼玉県産業振興公社 理事長 織田 秀明

はじめに日本技術士会埼玉県支部並びに会員皆様の、高度な専門知識と多くの知見に基づいた日頃の活動に対しまして、心から深く敬意を表します。

当社は、「中小企業の未来を創造する信頼のパートナー」の理念の下、埼玉県のあらゆる産業振興のための活動、特に県内企業の大半を占める中小企業のために様々な支援を行ってきております。近年は重点施策として、特に先端産業支援・海外の展開支援活動等に力を入れてきております。

さて、21世紀は不確実不透明な時代といわれており、近年の技術進化・深化には、その分野・スピード共に驚かされます。このような事業環境の中で、企業が生き残ってゆくためには、世界レベルでの大きな潮流・メガトレンドをしっかりと捉え、自分たちの強みと弱みを客観的に評価し、はっきりと認識した上で、長期的な戦略を構築し、行動する事が肝要です。特に、グローバル化の中、エネルギー・人口問題・IT革命・つながる社会、等々あらゆる新しいメガトレンドを加味し、変化に対して柔軟でスピードを持った対応が求められます。

現在の日本産業の置かれている環境下（特に高齢少子化社会・人口問題）では、量を求めるのではなく付加価値の高い産業への移行が不可欠であります。そのためにも経済学者シュンペーターが定義したイノベーションの伴った産業への転

換が肝となります。イノベーションとは単に新しい技術開発だけではなく、新しいアイデアから社会的意義のある新たな価値を創造することにあります。それが今までの常識を打ち破り、社会的に大きな変化を引き起こすこととなります。現在のIoT（第4次産業革命）もその一つの例でしょう。

ただし、このイノベーションは簡単には出てこないし、優良な大きな企業からは生まれにくいといわれています（イノベーションのジレンマ）。優れた商品を開発・生産・販売する優良企業が、現存する商品技術をベースに改良・改革に追われ、破壊的イノベーションを伴う新商品を打ち出せないことが原因で、最終的には新規企業にとって代わられるというものです。

県内の中小企業を見ると素晴らしい新しいアイデアを持ったオンリーワンの企業が、徐々に育ってきているように感じています。この時代にあっては、柔軟な考えを持った企業の対応力が重要です。その鍵となるのは経営者・技術者の常識を疑う文化・意外性のある人材育成等にかかっているといても過言ではないでしょう。今後とも当公社では、貴会との連携を一層深め、新しい産業の創出・活性化に貢献いたしたく、切にご協力をお願いいたします。



## ★ 支部長あいさつ

埼玉県支部長 渡辺孫也

昨年は天候が不順で大雨による水害などがあつた一方、埼玉県人からのノーベル物理学賞の受賞者が出たという明るいニュースがありました。

新年度を迎えて埼玉県支部の重要課題について以下にご紹介し皆様のご協力をお願いしたいと思います。

支部では組織の一部変更を行い、それに伴い担当幹事の異動も行いました。新組織と所掌事項を下記に示します。

まずは、県の教育委員会や諸団体との連携を図り一層強力に理科教育支援を進めることとします。そこで従来の小委員会を科学技術振興委員会として発展させることにしました。小中学高校の理科教育の支援を主体的に行う委員会にしました。従来からの実績をベースにさらに一段と発展することを期待します。昨年10月の埼玉県立総合教育センターの一般公開日には、理科実験を行いました。1100人を超える来場者があり大盛況で非常に感謝されました。

次に、埼玉県の施策である「中小企業の経営革新計画作成」に対し、引続き協力・支援をしていくことにしました。この事業も2年目を迎えますが、実際の業務はこれからです。特に技術的問題

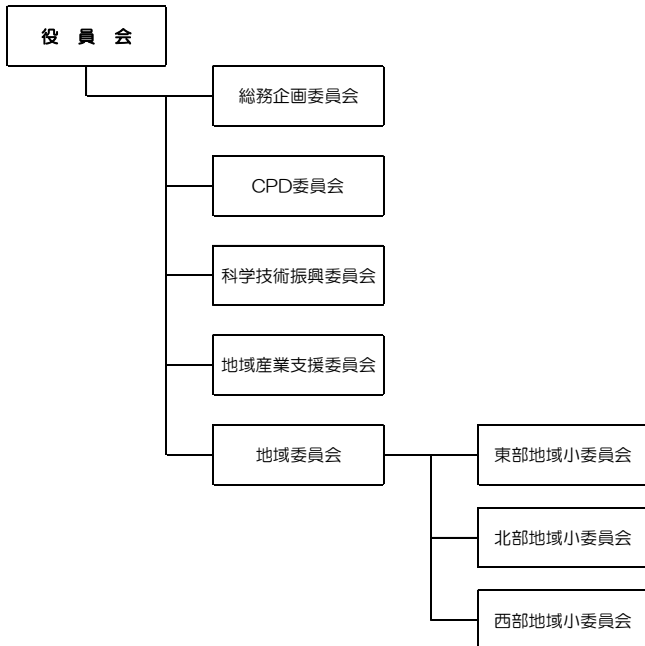
の解決に向け対処するのが我々日本技術士会の正会員の使命でありますので、全力で取り組んでゆきたいと思えます。商工会議所、商工会および中小企業診断協会等関連する団体とも緊密な連携を取りながら進めてまいります。関係者のご協力をお願いします。

3番目は、地域委員会の下に新しく発足した東部、北部、西部の3地域の小委員会活動です。この活動は支部の活動を活発にすると同時に、新たに活躍して頂ける会員との出会いを目的としていますので、今後とも強力に推進して参ります。昨年12月のCPD見学会「東遷物語」は大変盛況で、素晴らしい行事を催す事が出来ました。これは地域組織の強い結束力により、CPD委員会等他部門との連携を図った結果であり、創意工夫と皆さまのご努力の賜物だと思います。さらこれからが楽しみです。

新体制のもと役員一同、支部発展のために全力で取り組んで参りますので、皆様のご絶大なるご支援とご協力をお願い申し上げます。



埼玉県支部組織図



委員会所掌事項一覧表

委員会名	所掌事項
総務企画委員会	1. 事業実施の全般企画、運営管理 2. 倫理・秩序・信用の維持、会員の顕彰 3. 会報発行、HP活用等による広報 4. 財務管理 5. その他、他の委員会の所掌にない事項
CPD委員会	1. 技術士CPDの企画、実施 2. 技術士倫理研修 3. 教育機関、若手技術者への技術士制度の普及
科学技術振興委員会	1. 理科教育の支援 2. 科学技術の普及・啓発活動支援と関連との連携
地域産業支援委員会	1. 科学技術を通じた社会貢献活動 2. 地域産業支援 3. 技術士活動のPR
地域委員会	1. 所管する地域在住会員の交流促進 2. 所管する地域での支部活動のサポート

## ★ 新年度を迎えて

### CPD委員会

CPD委員長 増古 恒夫

本委員会は、1) 技術士CPDの企画、実施、2) 技術士倫理研修、3) 教育機関、若手技術者への技術士制度普及を担当しております。各地域から2名の委員の参加を得、11名の委員で構成、今期は15回のCPDセミナー（見学会2回/年を含む）を計画しています。各地域でのCPDセミナーは基本

的に土曜日午後としています。

CPD セミナーに関する実施計画等お知らせは日本技術士会ホームページや会員向けメールで発信しております。未登録の方はメールアドレス登録を是非お願いいたします。

### 科学技術振興委員会

科学技術振興委員長 黒澤 兵夫

埼玉県立総合教育センター一般公開・埼玉県支部

#### 『おもしろ理科実験』報告

今回（平成27年10月17日）は、「スライム」と「ゴムの不思議」の実験を行い、125名（生徒100名、父兄25名）が参加し盛大でした。今後も、行政及び教育機関、理科教室及び理科実験行事を主催します自治体、企業等と連携・協力していきます。



理科実験「スライム」

理科実験「ゴムの不思議」

### 地域産業支援委員会活動

地域産業支援委員長 穴戸 富雄

己の「殻」を破って新たな地域支援活動を！

当委員会は、以前から技術課題相談会に参画し県内の中小企業各社の技術支援活動を行ってきました。新たに昨年3月埼玉県の“経営革新計画”支援機関となり4月から支部内にチームを組み、これまでお付き合いが少なかった各地区の商工会議所や商工会を訪問しました。そこで技術士活動の紹介と経営指導員の方々とお話し合いをする機会があり

ましたが、ほとんどの方々は技術士の存在を知りませんでした。伺ったお話しの中には初めてお聞きする事もあり、さまざまな“学習”をする事ができました。今回の活動で我々が“為すべき役割”の一つを改めて認識する事ができました。技術士一人ひとりが己の殻を破って“新たな活動”をする必要があると痛感した次第です。新年度も、皆様方と一緒に地域支援活動を推進したいと思います。

### 地域委員会

地域委員長 町田 博

地域委員会は、会員の交流促進、及び技術士の地域活動支援を目的に、県支部活動をサポートしています。県内の東部、西部、北部に小委員会を置き、CPD講演会、見学会を企画・実施しています。平成28年度は、各小委員会で下記テーマを中心に活動し、企業支援における課題解決及びネットワーク構築に繋がる活動に努めたいと思います。

- (1) 東部：治水・利水、水ビジネスに関する技術展開
- (2) 西部：経営革新計画に対する技術支援
- (3) 北部：災害対策での安全・安心を担保する技術検討

## 総務企画委員会

総務企画委員長 松井 繁

本委員会の活動目的は会員の組織的活動を行い易くし、その活動を通して社会貢献活動の成果を出すためであり、最も重要な委員会活動と自負しております。

具体的には、埼玉県支部手引き、要領及び各種内規の整備を行い、会員がスムーズな活動を行えるようにし、また、情報管理責任者を強化して素早い

連絡メール、見易いホームページの改訂等を行っています。更に埼玉県支部協賛団体の募集も行っています。各種講演会等に当支部会員と同待遇でご参加いただけます。身近に現役の技術士と親しく活動を共にできる良い機会であり、外部団体・組織の方々のご加入をお勧めいたします。詳細は下記総務企画委員会宛にメールにて資料をご請求ください。

## ★ 技術士研究・業績発表大会報告

平成28年1月9日に9回目となる大会が、さいたま新都心交流プラザにて、講演者5名と参加者48名にて開催されました。発表された内容は多岐に渡り、参加者からは活発な意見交換がなされ、自己研鑽となる有意義な話が聴けました。

講演1：「埼玉県営水道の概要」（建設 埼玉県企業局長 井上桂一氏）

講演2：「理研小型中性子源 RANS の技術開発(老朽化橋梁診断等への応用・・・コンクリート内部の可視化)」（電気電子 関口芳弘氏）

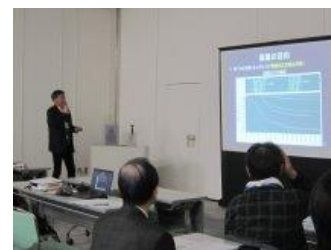
講演3：「自己管理強化によるプロジェクトマネジメントの高度化に関する研究報告」（建設 小川哲也氏）

## CPD 委員会

講演4：「2016年で開業して10年～～芸8年 商売10年」（電気電子 渡部利範氏）

講演5：「Bemtor Project (インドネシア)」（機械 浅賀栄蔵氏）

閉会后、賀詞交歓会が行われ参加者相互に交流を深めました。



## ★ 協賛団体の紹介 『ベルセッジ・インコーポレイテッド』

ベルセッジ・インコーポレイテッド様は、平成13年に設立され、今年で満15年となります。主な事業は、エネルギー分野や防災分野の地質調査並びにコンサルティングを中心とする建設関連サービスです。

3.11 東日本大震災以降の急速な再生可能エネルギーの普及や電力自由化によるインフラ整備・保守、自然災害などの防災に、当社として技術・事業とし

て社会貢献がなされるものと期待しています。

また、事業分野の特性上、技術士制度に対して理解が深く、平成26年2月からは埼玉県支部の協賛団体として、埼玉県支部の活動を支援していただいています。

(紹介文：総務企画委員会)

次回紹介予定

NPO 法人 彩の国技術士センター

## ★ 編集後記

埼玉県支部広報誌は、今回で7号になりました。この間、レイアウトを少しずつ改善してきたため、読みやすくなったと思います。今後は掲載内容の充実を図る所存ですが、増頁を含め掲載内容について会員の皆様のご意見をお聞かせください。 [ 総務企画副委員長 村山 肇 ]

おくづけ	公益社団法人日本技術士会埼玉県支部 こうほう・彩の技術士 第7号
発行年月日	平成28年4月1日発行
発行所	埼玉県支部
E-mail	saitama@engineer.or.jp
編集	総務企画委員会